

高齢者要望等実態調査結果の検証

佐賀中部広域連合

第2回策定委員会資料

調査結果の検証

実態調査からの検証 1：全体について

今回の分析は、従来の各項目毎に性別、年齢、要介護度、所得段階によるクロス集計を進めるとともに、今回からの認定基準の変更を考慮し、要介護度を軽度介護者〔要支援と要介護1〕と重度介護者〔要介護2・3・4・5〕の2つに分けたクロス集計を行い、分析した。

なお、以下の分析まとめでは、前回（平成13年）の調査と差異が出ている項目を中心に記した。

要援護者（在宅）調査

介護が必要な状態になった主な原因（報告書5頁）

**認知症は第4位。軽度要介護者は「リウマチ・腰痛・関節炎」の割合が高く、重度要介護者は「脳卒中」、
「認知症」の割合が高い。**

「認知症」が新たな選択項目に入ったが、「リウマチ・腰痛・関節炎」（19.3%）、「脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）」（19.0%）、「骨折・転倒等」（16.4%）に次いで、全体の上位第4位（11.8%）に選択されている。

軽度要介護者〔要支援と要介護1〕と重度要介護者〔要介護2・3・4・5〕の分類で見ると、軽度要介護者は「リウマチ・腰痛・関節炎」の割合が高く、重度要介護者は「脳卒中（脳出血、脳梗塞・くも膜下出血）」、「認知症」の割合が高い。

また、軽度・重度要介護者と性別で見ると、軽度男性は「心臓病」、「老衰」、「呼吸器疾患（慢性気管支炎・ぜんそく等）」、軽度女性は「リウマチ・腰痛・関節炎」、「骨折・転倒等」、「高血圧」、重度男性は「脳卒中（脳出血、脳梗塞・くも膜下出血）」、重度女性は「認知症」の割合が高い。

ケアマネージャーへの意見の根拠内容について（報告書18頁）

軽度要介護者は身の回りの自立の支援を、重度要介護者は家族の意見にそっての割合が高い。

軽度要介護者は、「なるべく自分で身の回りのことができるようにしてもらおう」（49.9%）割合が高く、重度要介護者は、「家族の言うとおりにしている」（32.1%）割合が高い。

介護保険対象外サービスについての利用意向（報告書19～20頁）

軽度要介護者は「緊急通報装置の給付・貸与」、「配食サービス」、「住宅改修相談」、「軽易な日常生活援助」、「パソコン、習い事、趣味等の教室」が高く、重度要介護者は「訪問理美容サービス」の利用意向が高い。

利用意向を軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「配食サービス」（23.3%）、「住宅改修に関する相談」（14.1%）、「緊急通報装置の給付・貸与」（26.1%）、「高齢者間での共同生活支援」（3.3%）、「軽易な日常生活援助」（13.3%）、「パソコン、習い事、趣味等の教室」（9.0%）の利用意向が高い。

現在のサービス利用料（1割）負担について（報告書21～22頁）

「高く感じる」が10ポイント減っている。

前回と比べると、「わからない」の選択肢が加わった違いはあるが、「高く感じる」が10ポイント（前回19.7%、今回9.7%）減っている。

今後の介護の希望（報告書 26～27 頁）

自宅か施設での介護希望は、ほぼ前回と同じ。軽度要介護者は「自宅で、介護サービスのみ」と「介護保険施設への入所」、重度要介護者は「自宅で家族と介護サービス」の希望が高い

前回と比べると、自宅での介護、施設での介護を受けたい割合は、ほとんど変わりが無い。

軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」（10.3%）と「日常生活の世話や機能訓練などを行なう介護保険施設に入所したい」（7.8%）、重度要介護者は「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」（53.0%）の割合が高い。

[介護者]

主な介護者の属性（報告書 28 頁）

軽度要介護者は「訪問介護員（ホームヘルパー） 家政婦など」が重度要介護者より相対的に高い。

軽度・重度要介護者で見ると、軽度要介護者は「訪問介護員（ホームヘルパー） 家政婦など」（12.8%）の割合が重度要介護者の（4.7%）に比較して高い。重度要介護者は配偶者（30.5%）、子ども（26.8%）が高い。

主な介護者の就労状況（報告書 31 頁）

「仕事をしている」が減っている。

前回と比べて、「仕事をしている」（45.9%）が 3.4 ポイント減り、「仕事をしていない」（53.7%）が 3.4 ポイント増えている。

主な介護者の介護保険制度利用による、介護の負担の軽減感について（報告書 32～33 頁）

身体的・精神的・経済的負担感は3つとも軽減している。3負担感について、軽度要介護者は、かわらない傾向が強く、重度要介護者は、以前より軽く(重く)なったと2極化傾向。

前回と比べると、身体的負担感、精神的負担感、経済的負担感の3つともに「大いに軽くなった」で2倍強、「以前より軽くなった」で2倍弱のポイントが増えている。

軽度・重度要介護者とも身体的・精神的には、「以前より軽くなった」が最も多く、経済的には「かわらない」が最も多い。

軽度・重度要介護者で比較すると、軽度要介護者は、身体的・精神的・経済的負担感について「かわらない」傾向が強く、重度要介護者は3負担感についてそれぞれ「以前より軽くなった」と「以前より重くなった」の傾向が強い。

主な介護者の今後の介護保険サービス利用について（報告書 33～34 頁）

前回より介護保険サービスを積極利用する傾向。

前回と比べると、「今のままでよい」（64.6%）の割合が 5.2 ポイント減っており、「限度額の範囲内で増やしたい」（26.4%）が 4.1 ポイント、「限度額を超えても増やしたい」（7.0%）が 2.2 ポイント増えており、介護保険サービスを積極的に利用する姿勢が出ている。

主な介護者の困った時の相談相手（報告書 36 頁）

重度要介護者の方が業者へ相談している。

軽度・重度要介護者で見ると、重度要介護者の方が介護保険に関する業者への相談の割合が高い。

主な介護者の今後の介護の方法（報告書 36～37 頁）

前回より「自宅での介護」が増えている。

前回と比べると、「自宅での介護」(80.1%)の傾向が5.6ポイント増えている。

要援護者(施設入所者)調査

本人の状況(報告書38~39頁)

前回より要支援、要介護1、2の割合が減少。

前回と比べて、要支援(0.4ポイント)、要介護1(6.0ポイント)、要介護2(1.0ポイント)の割合が減っており、施設利用者の介護度の重度化が進んでいる。

施設入所が必要になった主な原因(報告書40頁)

「認知症」は第2位の原因。

「認知症」が新たな選択項目に入り、上位第2位(27.7%)に選択されている。

今後介護を受けたい場所(報告書41~42頁)

「在宅」が前回の3位から1位へ。軽度要介護者は「在宅」、「介護老人保健施設」の割合が高い。

前回と比べると、「在宅」(29.3%)が7.2ポイント増え、前回第3位が第1位となっている。

軽度・重度介護度で見ると、軽度要介護者が「在宅」(34.7%)、「介護老人保健施設」(20.3%)の割合が高い。

利用料(1割)負担について(報告書42頁)

「適当だと思う」が減少。「わからない」がもっとも多い。

前回と比べると、「わからない」(61.0%)が新たな選択項目に入り、「適当だと思う」(22.1%)が14ポイント近く減っている。

一般高齢者調査

利用料(1割)負担について(報告書49頁)

「高く感じる」が減り、特に高齢者夫婦世帯で減っている。

前回と比べると、「わからない」(37.4%)が新たな選択項目に入り、全体で「高く感じる」(15.1%)が14.2ポイント減っている。家族形態では、「本人とその配偶者(65歳以上)のみの世帯」(14.7%)で、最大16.5ポイント減っている。

介助が必要になった場合の希望(報告書50頁)

在宅での介護の希望は、前回とほぼ同じ。

前回の自宅での介護希望率(54.7%)と比べると、在宅での介護の割合(55.0%)は余り変わらない。

実態調査からの検証2：在宅の軽度要介護者の特徴

1. 家族の状況（報告書3頁）

その他の世帯以外の高齢者世帯全体で約44%、その内の単身世帯は約23%。

2. 要介護になった原因（報告書5頁）

リウマチ・腰痛・関節炎等(23.7%)が高いのが特徴で、骨折・転倒等(17.6%)、脳卒中(15.5%)と続く。

3. 介護保険サービスの利用状況と利用意向（報告書6頁）

利用経験と利用意向が高いサービスについて記述。

訪問介護（ホームヘルプサービス）（報告書6頁）

利用経験も利用意向も3割前後だが、単身世帯では6割を超える利用経験になっている。利用希望では週1~2時間が38.2%と最も高く、生活援助型が59.0%と高い。

通所サービス（デイサービス・デイケア）（報告書8頁）

利用経験も利用意向も約6割と高く、特に介護者の利用意向は8割弱になる。利用希望回数は週1~3回が高い。

短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）（報告書9頁）

本人の利用経験は約7%、利用意向は約20%だが、介護者の利用意向が約5割と高い。

福祉用具の利用（報告書10~11頁）

利用経験は30%を超え、利用意向も40%弱と高い。今後利用希望するものは、「特殊寝台」、「歩行支援用具」、「車いす」、「入浴補助用具」の順。

住宅改修（報告書11~12頁）

住宅改修経験は約30%、利用意向は約25%だが、特に介護者の利用意向は38%と高い。利用経験・意向ともに、「手すりの取り付け」、「床段差の解消」、「便器の取り替え」が高い。

4. ケアプラン作成時のケアマネージャーへの意見（報告書18頁）

ケアプラン作成時に、ケアマネージャーに対し、どのような考えをもとに意見を言っているかの質問に対しては、軽度要介護者は、「なるべく自分で身の回りのことができるようにしてもらおう」(49.9%)割合が高く、重度要介護者は、「家族の言うとおりにしている」(32.1%)割合が高い。

5. 介護保険対象外サービスの利用意向（報告書19~20頁）

軽度要介護者の利用意向が重度に比較して高いのは「緊急通報装置の給付・貸与」(26.1%)、「配食サービス」(23.3%)、「住宅改修に関する相談」(14.1%)、「軽易な日常生活援助」(13.3%)、「パソコン、習い事、趣味等の教室」(9.0%)など。

6. 今後の介護の希望（報告書26~27頁）

今後の介護の希望としては、「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」が44.1%と最も高く、次いで「自宅で家族等だけで介護してほしい」15.4%、「自宅で、介護サービスだけで介護してほしい」10.3%などとなっている。「日常生活の世話や機能訓練などを行なう介護保険施設に入所したい」も7.8%の希望がある。一方、重度要介護者は「自宅で家族等のほかホームヘルパー・ショートステイ等を活用したい」が53.0%と高い。

7. **介護者の介護保険制度利用による介護の負担の軽減感**（報告書 32～33 頁）

介護による身体的・精神的・経済的負担感は、軽度・重度要介護者の比較で見ると、軽度要介護者は、3 負担感について「**かわらない**」傾向が強く、重度要介護者は、3 負担感についてそれぞれ「**以前より軽くなった**」と「**以前より重くなった**」の傾向が強い。

8. **介護者の今後の介護保険サービス利用意向**（報告書 33～34 頁）

全体の傾向とほぼ変わらず、「**今のままでよい**」、「**限度額の範囲内で増やしたい**」、「**限度額を超えても増やしたい**」の順。

9. **介護者の今後の介護保険対象外サービス利用意向**（報告書 35 頁）

利用意向を軽度・重度要介護者で比較すると、軽度要介護者が高いのは「**配食サービス**」（25.6%）、「**住宅改修に関する相談**」（22.9%）、「**緊急通報装置の給付・貸与**」（25.5%）、「**軽易な日常生活援助**」（12.3%）、「**パソコン、習い事、趣味等の教室**」（10.1%）等である。

10. **介護者の今後の介護の方法**（報告書 36～37 頁）

全体の傾向とほぼ同じで、「**自宅で家族等のほかホームヘルパー、ショートステイ等を活用したい**」、「**自宅で家族等だけで介護したい**」の順。

実態調査からの検証3：一般高齢者の健康状態による特徴

1. **性別**（報告書 44 頁）
「男性」の方が**大変健康**の割合が高い。
2. **家族の状況**（報告書 45 頁）
「高齢者本人とその配偶者（65 歳未満）のみの世帯」が**大変健康**の割合が高い。
3. **介護保険対象外サービスの利用状況と利用意向**（報告書 48 頁）
 - ・利用状況は、全 13 サービスにおいて、**大変健康**と**普通に生活**では差がない。
 - ・利用意向で、**大変健康**の利用意向が**普通に生活**より相対的に高いのは「高齢者間での共同生活支援」、「スポーツ、体育関連の教室」、「パソコン、習い事、趣味等の教室」、「宿泊サービス」であり、**普通に生活**の利用意向が高いのは「配食サービス」、「寝具洗濯乾燥消毒サービス」、「住宅改修に関する相談」、「訪問理美容サービス」、「緊急通報装置の給付・貸与」、「軽易な日常生活援助」、「日常生活に必要な用具の給付・貸与」であり、これらの他は差がない。
4. **保健サービスの利用状況と利用意向**（報告書 48 頁）
 - ・利用状況で、**大変健康**の利用度が高いのは「健康診査」であり、**普通に生活**の利用度が若干高いのは「機能訓練」である。他の 3 サービスは差がない。
 - ・利用意向は、全 5 サービスで**大変健康**の方が**普通に生活**より利用意向度が高い。
5. **相談サービスの利用状況と利用意向**（報告書 49 頁）
 - ・利用状況は、「在宅介護支援センター」のみが**普通に生活**の利用度がやや高いが、他は差がない。
 - ・利用意向で、**大変健康**の利用意向が高いのは「在宅支援センター」と「役所、役場、保健所での保健、介護などの相談」である。他の 2 サービスは差がない。
6. **介護保険制度の利用料（1 割負担）について**（報告書 49 頁）
 - ・**大変健康**が「高く感じる」（21.3%）割合が高い。